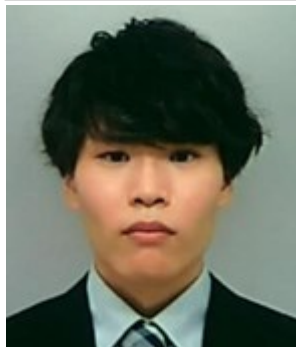


日本アクチュアリー会 2023年度 資格試験 合格体験記

発行：早稲田大学大学院会計研究科
発行人：清水 孝
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1



アクチュアリー
専門コース2年
今野 大和
基礎科目全5科目合格
準会員資格取得



試験対策について

私は飛び級で会計研に入学し、修士1年時に「生保数理」と「損保数理」、修士2年時に「数学」「年金数理」「会計・経済・投資理論」に合格し、アクチュアリー準会員となりました。実際にした具体的な勉強の流れは以下の通りです。まず、春学期の授業では理論的な内容を一通り学ぶので、アクチュアリー研究会のWork Book+教科書で予習→授業で再確認→課題やWork Bookで復習といった流れで勉強をしていました。そして秋学期には授業内容が問題を解くことを中心とした演習授業となるので、授業+Work Book+過去問で演習を行っていました。基本的には上記に加えて「合格へのストラテジー」等を用いれば良いと思います。試験対策において、会計研に入って良かったことは次の2つです。1つ目はモチベーションが維持しやすい環境であるということです。周りにはアクチュアリー志望の人が沢山いるので、気持ち的に勉強が継続しやすいです。また、友達同士で自主勉強会を開いたり、授業の休憩時間で分からない範囲を教えあったり、互いにどのような勉強を行っているか聞いたりなど、学生間でも仲良く楽しく勉強しています。他にも会計研には院生専用の自習室があり、静かで明るい空間なのでとても勉強がしやすいです。アクチュアリー試験はただ勉強するだけでなく、長時間かつ質の高い勉強をする必要があるので自習室の存在は試験合格にとっても役立ったと感じます。2つ目は授業の質の高さです。アクチュアリー関連の授業では春学期に教科書を解説し、秋学期にひたすら問題演習をすることが多いです。また、春学期はただ教科書を読むだけではなく、教授が作成した独自のPDFを用いており、説明が大変分かりやすいです。特に数学の授業では教授が試験の予想問題を作って下さり、未出問題への対策がしやすい環境となっています。実際に私が受けた年度では野村先生が予想していた範囲が未出問題として出題されました。他にも授業のペースに合わせて勉強することで無理なく進めることができたのも大きいと考えています。

後輩へのメッセージ

会計研はアクチュアリーを目指すなら最適な場所だと思います。会計研はアクチュアリー試験関連の授業だけでなく、データサイエンスや金融工学について学べたり、実際に実務をこなしている方からの話を聞けたりするので、仕事に活かせる知識を身に付けることもできます。他にも就職活動で情報を共有したりなど、勉強以外のことで会計研に在籍していて良かったことは沢山あります。アクチュアリーを目指したい方には是非会計研への入学をおすすめします。



アクチュアリー
専門コース1年
大波 真人
基礎科目全5科目合格
準会員資格取得



試験対策について

私は学部3年時に「数学」、修士1年時に「生保数理」「損保数理」「年金数理」「会計・経済・投資理論」に合格し準会員となりました。振り返ってみると、会計研究科独自の勉強環境による恩恵が大きかったと考えています。まず第一に、アクチュアリー試験対策の授業が充実している点が挙げられます。春学期は講義形式の授業が行われ、事前に教科書や参考書で予習し、授業および課題によって復習を重ねることで、効率よく知識の定着させることができました。秋学期には演習形式の授業が展開され、課題発表を通して自己の理解を向上させることができました。次に、自主ゼミの活用です。自主ゼミとは週に一度参加者が集まり、教科書の輪読や過去問の演習を通して理解を深める場です。特に年金数理のゼミでは先輩方と合同で行い、自己の理解度の確認や未出問題の対策が功を奏し、合格に至ったと考えています。最後に、アクチュアリーを目指す同期がいることです。学部時代では個人での学習が主であり、モチベーションの維持に苦戦していました。一方、会計研究科では同じ目標に向かって約20名の同期がいます。彼らの勉強する姿勢を見るとこちらも自然と意欲を高めることができ、モチベーションを維持しながら取り組むことができました。秋から冬にかけて、夜遅い時間まで一緒に勉強してくれた友人には深く感謝しています。このように、会計研究科ではアクチュアリーを目指すための教育が十分に整備されており、勉強しやすい環境だと感じました。

後輩へのメッセージ

会計研究科ではアクチュアリーの分野のみならず、会計・データサイエンス・金融工学など幅広い領域を学ぶことができます。私自身は特にデータサイエンスに集中して取り組んできました。学習前はほぼ未経験の状態であり、授業について行けるかどうか、自身の知識の糧にできるか不安な面もありました。しかし、授業を教えてください先生方の指導は非常にわかりやすく、質問にも懇切丁寧に対応してくださいました。その結果、データサイエンスの未経験者でありながらも研究活動に落とし込めるほどスキルを上達することができました。このようにアクチュアリーという属性以外の分野も極められるのも会計研究科のメリットだと思います。

また横だけでなく、縦の繋がりを築きやすいのも会計研究科のメリットです。特に、就職活動においては親身になって相談して頂き、就職活動の不安解消にも繋がりました。是非会計研究科で、自身の理想のアクチュアリーを目指して頑張ってください。

会計専門コース1年
吉山 史城
基礎科目全5科目合格
準会員資格取得



試験対策について

会計専門コースの視点から、私がアクチュアリー試験について感じたことをご紹介します。会計・経済・投資理論に関しては、会計士試験で経済学を選択していたこともあり特別対策は不要であると感じました。試験対策で最も大変だった科目は数学でした。数学の教科書は、初学者の私には行間が掴みづらい箇所が多く難解であると感じました。この点では、授業や配布資料は初学者にも分かりやすい内容で効率的に学習を進めることができました。また、理解の浅い点や疑問点は質問や自主ゼミでの議論を通じて解消でき、自信をもって試験に臨むことができました。受験を振り返ってみると、1次試験の科目は相互に関連している点が多く、スケジュールを確保できるのであれば同時に受験するのが効率的であると感じました。

私の学習スケジュールは、4月から7月にかけて授業や自主ゼミで数学と生保数理の理解を深め、並行して6月から7月で授業をペースメーカーに損保数理と年金数理の教科書を読み進めました。夏休みの8月・9月で市販の参考書を利用して数学と生保数理の問題演習に取り組みしました。10月からの秋学期では損保数理と年金数理の問題演習に加えて演習授業での小テストや発表が知識の定着に役立ちました。12月頃からは過去問5年分を使用して本番演習に取り組み、試験に備えての体力作りを意識しました。

後輩へのメッセージ

私は学部で会計士の準会員資格を取得し、今後のキャリアを考える中で会計監査の方面からアクチュアリーに関心を持ちました。会計研究科には飛び級制度があり、経済的・時間的負担を軽減しながらアクチュアリーを目指すことができます。私はこうした制度に魅力を感じ会計研究科への進学を決めました。文系出身で数学との接点が比較的薄かったことから、4月入学時点ではカリキュラムについていけるか不安もありましたが、結果的には洗練されたカリキュラムや偉大な先生方、数学のバックグラウンドを持つ同期に恵まれ、アクチュアリー準会員になることができました。さらに、近年ホットなデータサイエンス分野を基礎から体系的に学ぶことができたのは、未経験だった私にとって貴重な経験となりました。1年間を振り返って、会計研究科には資格取得以上にキャリアの可能性を広げることのできる素晴らしい環境が揃っていると確信しています。